



札幌大学と豊平区の連携事業 令和7年度「ありがとうの交換。」活動支援金中間報告会



主催者である大森学長からは、ありがとうの交換活動支援金は、学生と教職員が協力し、豊平区を主なフィールドとして地域活動や社会貢献に寄与する取り組みを大学が支援する新たな取り組みであり、地域の方々と協力し合い、新たな「わくわくを創造する力」を身につけた人材の育成すること、そして豊平区のまちづくり計画に貢献できる取り組みへと発展させていきたいとの想いを話されました。



中間報告会には、豊平区役所職員の方々にも、ご参加をいただき、学生の活動に対して地域住民との関係性の弱さやイベントの周知方法・時期の改善が必要。更に、協働のまちづくりに向けては、地域の方々は皆さんの活動を応援をしてくれるので、しっかりとコミュニケーションを取ることが大切とのアドバイスをいただきました。

挑戦する学生×地域の本気のオトナ達が熱い想いを交換。



学長賞

「はるのゼミ2年オールスターズ」
イスラムの文化背景を持つ方が増えている一方で、生活のしにくさなどの問題があり、イスラム食文化を通じた多文化理解と共生を考えるイベント（ハラールフード試食会）を開催

豊平区長賞

「札幌大学スポーツモリアゲ隊」
防災・防犯・視覚障がい者に対応し、更に地域の魅力も伝わるウォーキングマップを作成。地域の方々と一緒に歩くイベントを企画。本取り組みは北海道議会議員との意見交換のテーマに

審査委員特別賞

「札幌大学角田ゼミナール2025 s チーム」
大学の敷地内を開墾し、土づくり、イチゴの苗の定植、越冬対策を終え、来年度から本格栽培を目指します。企業さんのコラボして、新商品開発&宣伝に挑戦する構想のようです。

大学生がもっと地域を歩き、地域の方々と対話を重ね、どんな交流ができ一緒に小さなわくわくを創れるかを体験してほしいとの思いから本事業を創設しました。「何をするか」も大事ですが「何を大切にするか」を議論するともっと深い学びになると思います。そして利他の心で地域に寄り添えると、きっと素敵なありがとうに出会えるはずです。 職員S

